

# 闘春2019年元旦

## 連合中越地協幹事会 新旧役員引継ぎ会 兼 連合新潟対話会



第988号 2019.1.1  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部10円  
購読料は会費に含む



### 新春にあたり

連合中越地域協議会

議長 矢島 良彦

新年あけましておめでとーございませう。  
さて、本年は5月から「新元号」となり、日本と私達にとって、新時代を創る節目の年に皆様と活動を共に出来る事への期待と感謝の気持ちでおります。そんな今年の最重要課題を述べ年頭の挨拶といたします。

まず、労働界は3月から2019春季労働条件闘争がスタートします。賃上げに関しては、昨年同様産業間や業種内格差の是正と生活向上分として物価上昇に見合った実質賃金の改善がテーマとなります。そして賃金と同時に働き方に関しても大きく改善が必要となります。

日本は先進国の中でも貧困率が高く、取り分け相対的貧困率が高水準にあると言われています。一見すると普通の人と変わらない暮らしぶりでも、彼らの生活をつぶさに見れば、経済的理由で家族旅行にいけない、高校に進学できないといったようなことが起こっています。子供を抱えるひとり親世帯に限ると、相対的貧困率はさらに高くなり、その大半が母子家庭とのことです。この問題は労働組合だけで解決できるものではなく、国民的な活動として捉え、政策・制度の実現として国への働きかけが必要となってきます。

昨年成立した「働き方改革関連法」による時間外労働の上限設定や有給休暇の付与義務など働き方の見直しにとどまらず、法律は最低限の約束事にすぎません。順法は当然ですが、それ以上の労働条件の改定が今年の春闘での各組合が取り組む重要なポイントでもあります。現場では出口の見えない人手不足・多様な人材が活躍し働き続けられる職場・次世代への技術の承継など、私達労働者自身が団結し取り組むべき課題は山積みされています。成果を上げてこそ労働組合なのです。

職場の活動が起点的私達ですが、この労働条件交渉結果の実現性をより高めていくためには、職場での活動にとどまらず、身近な地域の諸課題を解決するためには、4月の「統一地方選挙」、働く産業と暮らしを守り良くするためには、7月の「参議院議員選挙」の取り組みが重要です。これまで作り上げてきた基盤を大事にしつつ、私達一人ひとりが夢や希望、信念を持って、次世代に引き継いでいくための行動を起こさなければならぬ時と考えます。

そして、私たち連合は大企業だけの組織ではなく、その役割は未組織企業で働く多くの労働者の底上げに役割をはたしていることも真剣に考え、スローガン「運動への参加と組織の拡大をすすめ、地域活動を広げよう」を合言葉に前進していきましょう。  
結びに、本年が皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

あけまして

おめでとーございませう



議長	矢島 良彦	U Aゼンセン
副議長	横澤 勝之	自治労
副議長	羽賀 実	J A M新潟
副議長	小堀 宏彦	電機連合
副議長	番場 睦	J P 労組
副議長	渡部 力也	電力総連
事務局長	小林 守	情報労連
事務局長	多田 義和	日教組
事務局長	金山 輝美	自治労
事務局長	飯田 浩二	U Aゼンセン
幹事	石井 正勝	J A M新潟
幹事	金子 敬	ヘルスクエア協
幹事	多田 将行	自動車総連
幹事	羽深 良一	日教組
幹事	石坂 亮学	情報労連
幹事	青柳 哲文	運輸労連
幹事	高橋 哲文	私鉄総連
幹事	米持 信也	基幹労連
幹事	室橋 賢人	J E C 連合
幹事	山田 康浩	全水道
幹事	五十嵐 厚	見附支部
幹事	関口 善仙	小千谷支部
幹事	登坂 仁	北魚沼支部
幹事	原 貴広	南魚沼支部
幹事	山口耕一郎	十日町支部
幹事	萩野宗次郎	S J ネット
幹事	保科 博子	S J ネット
幹事	木村 千絵	S J ネット
幹事	岡地 英紀	紙パ連合
幹事	権澤 安利	全労金
幹事	金内 孝永	連合新潟
幹事	木田由紀子	事務局
幹事	丸山 斉	事務局
幹事	長谷川慧輔(見附)	事務局



### 新年のごあいさつ

長岡市長 磯田 達伸

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新年を迎えるにあたり、市民の誰もが長岡で暮らすことに自信と誇りを感じられるよう、気持ちを新たに市政に取り組んでまいります。

連合中越様におかれましては、日頃から勤労者の地位向上や福祉の充実のため、積極的に事業に取り組まれるとともに、行政や関係機関との橋渡し役としてご尽力いただき心より感謝申し上げます。

連合中越様が中心となって運営されている「ながおかライフサポートセンター」では、市の「長岡パーソナル・サポート・センター」と連携し、仕事の悩みや不安を抱えている勤労者に寄り添った相談活動をしていただいております。働き方改革を進める上で、大変心強い存在となっております、改めて感謝申し上げます。

雇用情勢は、最低賃金の底上げをはじめ明るい兆しが見えておりますが、有効求人倍率の上昇に伴う大幅な人手不足の状況が続いており、過重労働などの懸念が高まっています。

長岡市では、働き方改革を推進するプラットフォームとして、企業、団体等と連携して「ながおか働き方プラス応援プロジェクト」を立ち上げました。現在、141社が長岡で働くことの魅力づくりに取り組んでおられます。これまで以上に、連合中越様をはじめとする各機関と連携を深めて働き方改革を推進し、企業や学生を結ぶ就職ガイダンスなどの人材確保にも積極的に取り組みます。多くの優秀な人材が長岡で活躍し、誰もがいきいきと働き・暮らせるまちづくりを進めてまいります。

昨年6月、市内3大学1高専と企業の交流により、人材育成と産業振興を図る拠点施設「NaDeC BASE (ナデックベース)」を開設しました。これまでに1万5千人以上の方からご利用いただき、長岡に活力を生み出す交流の場として着実に成長しています。ぜひ、皆様からもご利用いただければと思います。

本年は、中小企業において、働き方改革関連法の「時間外労働の上限規制」や「年次有給休暇の確実な取得」に向けた準備などが行われると考えております。市として、勤労者のニーズを踏まえた「働きやすい長岡」の実現に力強く取り組んでまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多い年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。



### 新年のごあいさつ

見附市長 久住 時男

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年10月に行われた市長選挙において、市民の皆様からご支持をいただき、引き続き市政を担わせていただくことになりました。就任当初から、見附を元気にするため、住んでいる人が愛着や誇りを持てるまちづくりに力を入れてまいりました。長年続けてきた住んでいるだけで健康で幸せになるまち「スマートウェルネスみつけ」というオンリーワンのまちづくりが全国から評価いただき、多くの視察を受けています。超高齢・人口減少社会の中でも持続できるまちとなるよう、市民の皆様と共に、今後もチャレンジを続けてまいります。

昨年7月には、見附まつりが第50回の節目を迎えました。恒例の樽はやし大会ではギネス記録に挑戦し、1171人の方々から参加いただきました。記録が認定された瞬間の歓声は大きなうねりのようで、大変な盛り上がりでした。何よりうれしかったのは、見附に住む市民自身が参加し、そして楽しむまつりになってきたことです。まつりの開催にご尽力いただいた関係各位に改めて感謝申し上げます。これからのふるさとみつけが市民の皆様にとりまして誇れるまちとなるよう市民とともに取り組んでまいります。

市民の参加といえば昨年6月、見附町部西地区に西地区スマイルコミュニティが立ち上がり、念願だった市内全域での地域コミュニティの設けが実現しました。構想から13年です。この間、自分の地域を愛する多くの市民が地域の未来を考え、地域一体となって汗をかいていただきました。これこそが将来、見附が生き残るための一番の財産となり、見附に暮らす最大の魅力となっていくものと確信しております。

また、9・10月に行われた見附駅前のにぎわいづくりにおける社会実験においても、実際に見附駅を使う高校生や企業、地域の市民から企画していただきました。想定以上の人が集まり、今後の駅前の再構築を考える上で、エリアの持つ可能性に自信を深めることができました。見附の若者にとって、人との交流が深められるたまり場となるよう、新年も引き続き市民とともに議論を深めてまいります。

このように見附のまちづくりは、行政だけで完結するものはほとんどありません。見附の未来図を市民の皆さんとともに共有し、市民の協力・協働のもと、施策や事業を進めることで成果があがるものばかりであります。昨年、内閣総理大臣賞を受賞されたナチュラルガーデニングクラブの皆様が、長年みつけイングリッシュガーデンの発展に尽力され、いまや全国に誇るべき施設になったことは、まさにこの好事例であります。

新年を迎え気持ちも新たに、引き続き持続可能なまちの実現に向け、地域包括ケアシステムの構築やコンパクトシティの推進など、既存概念にとらわれることなく、新しい発想をもって、市民の皆様と共に果敢にチャレンジしてまいります。

市民の皆様にとりまして、幸多い年であることを心よりお祈り申し上げ、新春を迎えてのごあいさつといたします。

「笑顔みつけ」  
ろうきん

新春のお慶びを申し上げます  
本年も変わらぬご愛顧を  
賜りますよう  
お願い申し上げます  
二〇一九年 元旦

ろうきんイメージモデル  
高梨 藍

新潟ろうきん ☎0120-191-880 (受付時間9:00~17:00) 新潟ろうきん 検索

※月～金の祝日(振替休日含む)、5月3日～5日、12月31日～1月3日、1月4日または5日が土・日・祝日の場合は異なります。

ろうきん長岡支店 TEL0258-33-6318  
ろうきん長岡北支店 TEL0258-34-5010

ZENROSAI NEWS  
1518W003

新春のお慶びを申し上げます。  
本年も変わらぬご愛顧を  
賜りますよう  
お願い申し上げます  
二〇一九年 元旦

全労済

全労済公式キャラクター ピットくん

全労済者共済生活協同組合連合会  
新潟推進本部  
(新潟県総合生活協同組合)